

総額をそれぞれ77億3772万8000円とするもので、全員一致で可決されました。

▽令和3年度館林市介護保険特別会計補正予算(第1号) 〓人事異動に伴う職員給与の組替えにより、120万7000円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ68億6612万8000円とするもので、全員一致で可決されました。

## 議員提出議案

▽厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書 〓賛成多数で可決されました。【全文】地方創生の推進とともに、加速する人口減少社会への対応が、我が国の将来にとって喫緊の政治課題となっている。地方議会の果たすべき役割と責任は、ますます重要となる。このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行

うことが求められている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては全市的に専門化が進んでいる。一方、今日では、就業者に占めるサラリーマンの割合は約9割にも達し、地方議会議員のなり手もサラリーマンからの転職者が増加している。地方議会議員が厚生年金に加入できるようになれば、民間会社の社員等が議員に転身しても切れ目なく厚生年金の適用を受けることができ、老後や家族を心配することなく選挙に立候補できる環境が整うことになる。多様で有為な人材の確保に大きく寄与すると考えられる。よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、厚生年金への地方議会議員の加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先 〓衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣

## 請願

▽安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るための国に対する意見書を求める請願書 〓「安全・安心の医療・介護・福祉提供体制を確保すること」など、請願書に記載された3つの請願項目について、国に対し意見書を提出してほしいというもので、賛成少数で不採択となりました。

## その他

▽継続調査について 各常任委員長から、議会閉会中の所管行政調査申請書が提出され、本会議にて各常任委員長の申し出のとおり承認されました。



スマートフォンやタブレットからも視聴できます!

市議会のHPをぜひご覧ください

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/li/gikai/index.html> 市議会トップページ➡



←ライブ&録画映像配信はこちら

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/tatebayashi/WebView/rd/council.html>

なお、各議員の質問の様子は、6ページからの「二次元コード」を読み取るとご覧になれます。

会議録の検索はこちら➡

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/tatebayashi/pg/index.html>

市議会だよりは、紙面の都合で本会議の要旨を掲載しています。

詳しくお知りになりたい場合は会議録をご覧ください。

※12月定例会の会議録は3月上旬頃掲載予定です。

